

令和4年度 市政ふれあい懇談会
市長あいさつ、伊達市の5つのまちづくりの説明 要旨

本日はお忙しい中、夜分にも関わらず多くの皆さんに参加いただき、ありがとうございます。市政ふれあい懇談会は、元々、令和元年10月に開催予定でしたが、東日本台風で受けた被害の復旧に専念するため中止させていただいていました。令和2、3年についてもコロナ禍のため開催できませんでした。やはり、市の施策を皆さんに説明申し上げ、皆さんから色んな意見をいただき、市政に反映させなければとの思いから今般開催した次第です。

まずは、最近の話題からお話したいと思います。新型コロナウイルス感染症がだいぶ収まってきたかと思うと、ここにきて感染者が増えています。前週の同じ曜日と比べると1.5倍ほど増えています。冬季になるとインフルエンザの同時流行が懸念されます。伊達市においてはオミクロン株に対応したワクチン接種を進めています。皆さんにも確認の通知を随時送付させていただいています。最初の接種時は予約で行っていましたが、中々予約するのに電話が繋がらない、予約をしても会場へ行くまでの交通手段が確保できないことがありました。集団接種で皆さんに日にちを指定していただき、都合が悪い時には変更していただくことや、バスによる交通手段を用意し集団接種を進めたことで接種率が上がったと感じています。今後も集団接種でしっかり、感染対策・重症化対策をしていきたいと思っています。また、市では感染しているか確認するための検査キットを無償配布しています。9時から予約をしていただき、市役所本庁舎に11時～12時内に来庁していただければキットを受け取れます。自分自身で体調管理をするということ、感染しても無症状だった場合の他人への感染を防ぐことが大事だと思っております。感染防止の方法として、冬場で寒いかもしれませんが時々換気を行うことと、外出後は手洗いをしっかり行うことが重要であり、徹底をお願いします。オミクロン株については感染力が強いため感染することを前提に考えていただく必要があります。感染した際の家庭の中での過ごし方、飲食物の確保といった対策を常日頃行っていただくことも大切です。県の保健所にて希望者に食料を届けることも行っています。

また、コロナ禍でイベント中止が続きましたが、各地域で感染対策をしたうえイベントを実行するようになってきました。先日、「だてマルシェ」が開催されました。地域で皆さんが会って話をするのは絶対重要です。リモートでは心が通じないため、今後も感染対策をしっかり行いながら地域のイベント支援をしていきたいと思っています。市としては県外のイベントにも積極的に参加しています。例えば姉妹都市である北海道松前町の「マグロ祭り」、千葉県白井市の「白井ふるさと祭り」に参加し、そこで市の農産物、特産物をしっかりPRさせていただきました。こういったことがないと姉妹都市、交友都市との縁が遠くなってしまいますので、地域イベントと共に県外イベントを対応していくことが重要と思っています。伊達市の農産物は非常に好評で、先日、白井市のイベントに参加した時も、2日分用意したシャインマスカットがすぐに売り切れました。地

元では普通と感じていることも、伊達市の特産をしっかりと自信をもって提供していくことが重要とつくづく思っています。

それから、夏の甲子園にて聖光学院がベスト4に進出した話ですが、準決勝戦にて仙台育英高校と試合を行い、仙台育英高校が東北初の優勝を果たしました。白河の関を超えた素晴らしい成績を残されたと思っています。それに対抗した聖光学院も素晴らしい試合を見せてくれました。国体においても決勝戦まで進み、大阪桐蔭高校には敗れましたが、また素晴らしい成績を残しました。ベスト4になると景色が変わると斎藤監督も言っていました。これから経験を積み、いずれは優勝できるよう頑張っていたきたいと思います。ベスト4になった際に、伊達なふるさと大使でお笑い芸人であるサンドウィッチマンの伊達みきおさんがブログの中で伊達家の出身である自分は伊達市を故郷だと感じ、仙台育ちで仙台市のふるさと大使も行っているため、複雑な想いであると述べられていました。それが共感を得たと思っています。決勝戦では仙台育英高校が、6回の攻撃時に聖光学院の応援歌であるGreeeenの「キセキ」を演奏したことも話題となり、素晴らしい友情で感動を与えました。東北はひとつであると、仙台育英高校が想いを引き継いで日本一になったと思っています。今度は聖光学院がその想いを果たしてくれると大きく期待しています。

(伊達地域)

伊達橋の話になります。伊達橋は、3月16日の23時に地震により被災を受けました。私は夜が明けるのを待ち、17日にすぐに現地へ行き確認しました。大変な被害ですぐに県知事へ連絡し状況を伝えたところ、その日の午後に県知事が現地確認をしました。2日後には国土交通大臣が現地を確認しました。本当の想いをしっかりと伝えたことで県や国が動いてくれたのだと思っています。橋の復旧とは本当に時間がかかります。なかなか直らないと皆さん思っていることと感じております。国も県もしっかり動いていただき、399号線は県道であるため県が管理主体ですが、県の要望により国が権限代行を行うこととなりました。仮橋については新聞でも発表がありましたが、来年の10月頃に仮橋が完成のため、あと1年程時間を要します。300メートルの橋であるため鋼製の仮橋を架けるにしてもなかなかすぐには進まない状況です。また、阿武隈川のような大きな河川は洪水期に橋脚工事ができないことになっているため、濁水期に橋脚工事を行い、洪水期に橋桁の工事を行う流れになります。道路も現在と同じ幅員が取れ、荷重は20トンまで通行できるため、通常の交通には影響ないと思っています。1年と長い期間ですが、皆で頑張っていきたいと思います。本橋についてはこれから設計となるため、どのような形になるかはこれから分かっていきます。歩道についても市民の皆さんと議会から質問いただきました。歩道橋が古く、これから出来る本橋に建て替えの際に一緒に施工できないかとの質問でしたので、県に再三要望してきましたが、災害復旧は原則元の形に復旧するものと回答がありました。今の幅員だと路肩が狭いため、多少広くはなりますが歩道をつけることはできないとのことでした。それでは災害復旧以外の方法でできな

いか話をしました。現在の歩道橋は大正10年頃にできたもので、昭和55年頃に橋桁を新しいものに変え、橋脚にも鋼矢板で洗堀されないように補強しています。それらの補修があるため、県にて定期的に検査をしますが、検査結果は「良好」とのことでした。歩道橋は鉄橋であるため通常の車が通る橋より頑丈にできており、荷重も問題ないため、歩道橋の支え部分の破損箇所を交換という形で県は関与していくとのことでした。地震で大きな被害はなかったものですが、今後、国道4号線沿いが発展し、交通量が増えてきた際に改めて検討させていただきたいとの回答でありました。

(梁川地域)

やながわ工業団地にて建設中の「バイオマス発電」に関する件です。市としては安全・安心を確保することが重要と考えます。事業者よりきちんと説明を受けたのは5月23になります。それまでは文書でのやり取りでありましたが、実際に話す機会が遅くなったことは申し訳なかったと思っております。その時に燃料について説明があり、建築廃材を使ったチップ6割、細かく砕いたプラスチック4割とのことでした。半分以上が木質系の燃料ということでバイオマス発電として国よりFIT制度の認定を受けているものです。燃料について心配されるのは放射性物質ですが、100ベクレル以下の基準にて測定したもののみを持ち込みます。大気については排気のシミュレーションをし、環境基準に合うか行うとのことでした。焼却灰は全量持ち出し、地下水は揚水試験を実施し周囲に影響ないことを確認、排水については332～336度の排水がされるため、下流に流れるまでに温度低下していくものと話を聞きました。こういった話を事業者から聞き、科学的根拠に基づいているものと思いました。適法に施設が建設されるため、市として拒むことはできない結論に達しました。しかし、適正な管理がされているか、基準が守られているかは監視していかなければとも思っています。守るべき事項を事業者と市がしっかり協定を結び、第三者も入れた形で監視を続けることが必要です。地下水については皆さんが特に心配されていることであるため、事業者にて再度、揚水試験を行います。市としても周辺の井戸の持ち主に協力いただき水位の調査をし、影響があるか確認していきます。放射能に関しても周辺の放射線量を今から計測し、燃料運搬後で数値の増加があるか確認します。市独自の対応もし、市民の安全を守れるよう市が責任をもって監視していきますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

(保原地域)

子どもたちが放課後に交流できる場所として「上保原児童クラブ」がありますが、建物老朽化と手狭になってきたことを理由に来年、建設を計画しています。子どもたちが学校の教育だけでなく、学校後に皆で集まって遊び、学習のできる居場所をしっかりとくっていきたいと考えています。市では、現在「こども食堂」についても支援させていただいています。また、市には国際交流員という外国人の職員がいます。職員がこども園や小学校に行き、生きた英語を教えることに取り組んでいます。小学校低学年から英

語に慣れることを進めています。スポーツ関係としては、生徒数が少ないことを原因に子どもたちが団体スポーツができない環境にあるため、総合型スポーツクラブを立ち上げました。今後、種目を増やし、大人も対象としたスポーツクラブを立ち上げていきたいと思っています。通学合宿できる場として、保原総合公園内の「宿泊施設とまっぺ」にて小学5年生が本来だと3泊4日であるのを1泊2日に短縮し実施しています。子どもたちが一緒に生活をして、全部自分たちで行い、生きる力を育むためにしっかり進めていきます。

保原地区の観光地として、高子駅北地区の高子岡城址、高子二十境、熊坂覇陵が漢詩を読んだ風景も素晴らしいと思っています。SNSで投稿していただけるような風景だと思いますので、環境の拠点にしていきたいと思っています。

（霊山地域）

2年前から霊山地域の小学校児童と中学1年生が霊山登山する取り組みを行っています。霊山に登って、環境のすばらしさや道先案内人より歴史を学ぶことで、霊山地域の良さを理解してもらう取り組みとなっています。地域教育は市全体でしっかり進めていきたいと思っています。

（月舘地域）

小手小学校が閉校になりましたが、サイクリングや農業体験、合宿等ができるような、気軽に泊まれる環境として宿泊施設をつくっています。来年3月に完成し、来年4月のオープンです。1階には地元の特産品を調理できるスペース、地元の皆さんが集まってお話しできるようなカフェスペースをつくっています。地元、若者との交流ができる環境として、小手小学校、グラウンド、花工房一帯を拠点にしたいと考えています。

就任して以来一貫して考えているのは、若者の定住と高齢者が元気なまちをしっかりとくっていききたいと思っています。まず若者の定住のためには働く場と住宅の確保、子育て・教育などをしっかり進めていきたいです。高齢化率を求めることよりも年をとっても元気でいられるまちにしたいと思っています。免許返納をし、外へ出る機会がなくなってしまうと元気もなくなってしまうため、交通手段の確保が大切とも思っています。そういった想いを込め、本題でもある5つのまちづくりについてお話をさせていただきたいと思います。

■安全・安心なまち

令和元年度の台風19号から3年が経ち、傷跡が言えないうちに、令和3年2月に福島県沖地震が発生しました。この地震は10年前の東日本大震災の余震ということで同じ震源域から発生したとのことでした。震度6強の地震が余震で来るということは東日本大震災がいかに大きい地震かということがわかります。地震はいつ何時おこるかわからな

いということを確認し対応していかなければならないと本当に思いました。有事の際の声掛けができる自主防災組織の結成をしていただくこと、避難の体制を整えるなど普段からの備えが重要です。水害の際には先ず水を排水しなければならないため、市では排水ポンプ車を2台購入しました。それをいつでも出動できるように市職員が操作研修を受けています。伊達市は阿武隈川の樋門が閉まり内水がはけなくなると大きな被害につながります。台風19号の際、阿武隈川の水位は上がっていませんが、樋門が想定外の雨量をはききれなかったことがありました。国にはしっかり対応していただき、新堀川の排水機関、向川原の排水機関、箱崎の排水機関を広げていただきました。これにより、阿武隈川の水位が上がらなければどどんはけるため内水被害は相当防げると思っております。今回、阿武隈川の水位が上がったのは、上流側で相当雨が降ったことが原因にあります。県内全域で降った雨により、伊達市で雨がやんでも阿武隈川の水位が上がるという現象がおきました。国では阿武隈川の底土を払い、上流側に遊水地を設けるといった対応をしていただいています。市としても排水の拡張を進めていきます。

■子育て・教育のまち

市ではネウボラという妊娠期から子の就学期までの支援制度があり、保健師が母と電話でやり取りをします。子育てにはいろいろな悩みがあり、核家族化が進み、誰に相談してよいかわからない現状を、相談体制の充実を図ることで対応します。また、働く場合に一番重要なのが、子をどうやって預けるかということです。市には、安全に子を見てもらえる場所として、認定こども園を伏黒地区に建築中、高子北地区にも計画しており業者が決定しました。保原地区にも新しく認定こども園をつくるよう進めています。できるだけ近いところに子どもを預けて働きに出られる環境が重要と思い、積極的に取り組んでおります。小学校については、伊達小学校が改築工事を進めており、先日、安全祈願祭を行いました。校舎は令和6年3月に供用開始予定であるため、仮設校舎で勉強する子どもたちには申し訳ありませんが、市としてはしっかりと工程管理をしています。

教育に関しては、これからはデジタル、ICTの時代であると考えています。ICTに関しては、子ども一人に対し一台のタブレットを配布し、学校が休校になった際に家庭で授業が受けられるという体制を整えています。ロボット教育については市内にあるリビンダグロボットにて開発した「メカトロウィーゴ」という小さい歩くロボットを使い、伊達市はプログラミング教育をいち早く進めています。月舘学園をはじめ、市内の学校でパソコンを使い、プログラミングしたロボットを動かすという教育です。これからの時代に合った即戦力を養うためにも引き続き取り組んでいきたいと思っております。

■農林業・商工業・観光のまち

農業なくして伊達市は語れません。伊達市の特産物である桃やきゅうりはもちろん、最初に述べたシャインマスカットなどといった成果物を中心に、市はこれからも今まで

の農業をしっかりと育てていかなければと思っています。そのための「担い手」の確保として、農家の子弟が継ぐだけではだめだと思っています。新しく外から農業をやりたいという人に対してどうやって支援をしていくかが重要で、家や土地、機械、成果物が安定するまでの生活費の支援などが必要です。国の支援もありますが、国の支援は45歳までが対象であるため、45歳以上の就農希望者にも市として支援をしていかなければと思います。支援制度をつくっています。そういった支援制度もあり、おかげさまで新規就農者も増えている状況になっています。また、市の4割は森林となっており、その森林をどうやって再生させるかということも重要になっています。森林の整備は一朝一夕でできるものではないからと手を入れない訳にはいきません。森林が荒れると下流に土砂が流れ、洪水が起きる原因になるため森林整備を進めていきたいと思っています。手始めに市内にある5つの森林公園を一つひとつ整備していきます。キャンプ、アスレチック、森林浴をする場があることで、子どもから大人まで森林の大切さを知っていただきます。

商工業に関しては、保原工業団地に新たに14ヘクタールの工業団地を造成工事しており、令和5年3月に完成を予定しています。数年先を見越して始めた造成工事でしたが、完成前から売り出しを始め、区画の9割は決定しています。この次をどうするかは今後考えていきます。また、堂ノ内地区に令和6年度開業する大型商業施設については、近隣市町と住民に了解をいただき進めることができたと思っています。この大型商業施設は年間1,500万人の来場者が予想されており、市内に回遊する方法を近隣市町と協議会をつくり、伊達市が中心となり進めています。バスの通行やデマンドタクシーなどの具体的な案を一つひとつ話し、イオングループに協力を求めながら進めていきたいと思っています。大型商業施設は3,000人の雇用が生まれると住宅地について心配されると思いますが、高子北地区に217区画の住宅地を造成しており、伊達地域にも約200区画の造成を計画しています。

■健康・福祉のまち

元気づくり会を平成28年から実施しており、130団体で実施していただいています。コロナ禍で実施できず休止していた時期もありましたが、会員の皆さんが何とかやりたいと自主的に進めたことでコロナ前より実施団体が増えました。これは皆さんの健康に対する意識の強さと、会員が主導で行ったことが非常に重要であったと思います。感謝しています。健康のために交通手段の確保も重要です。デマンドの充実のために、公共交通の全体的な見直しを行っており、地域交通をもっと使いやすくするためバス会社や阿武隈急行と協議をしていきます。

■移住・定住推進のまち

広報紙を充実させています。市民が直接紙面に出て、想いを伝えていただく手段としての広報紙づくりを進めています。伊達市としてPRを進めているのが話の冒頭でも触れた「伊達なふるさと大使」の任命です。お笑い芸人のサンドウィッチマン、サッポロ

ビール株式会社の前社長である高島英也さん、タレントとして「ZIP!」という番組内でお天気キャスターを務めた長沢裕さん、モデル・タレントの小林アリスさんといった4組に自分の活動の中で発信をしていただいています。市民の皆さんが自分の活動の中で伊達市をPRする「伊達な宣伝部長」、写真をSNSに投稿してPRする「だてフォト部」なども設けています。地道に人づてにPRすることこそ一番効果があると思っており、移住・定住につながると思っています。

伊達市には良いものがたくさんあります。地域振興を進めるうえで新しいものを作るのではなく、今あるものを伸ばすやり方が重要と私は思います。国道4号線、相馬福島道路、阿武隈急行線といった便利な交通状況が確保されいながら、都会化されていなく豊かな自然を有していることが伊達市の財産だと感じています。先ほど述べた5つのまちづくりが伊達市の発展の支えになると思っており、自然と都市が中和する田園空間を目指して作っていきたいです。これは行政の力だけでは実現しません。市民の皆さんの力がないと目標は達成しないため、皆さんの意見をいただきながら市の発展のために頑張っていくことをまとめとし、私からの話とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。